

新しい能力、新しい大学入試、 新しいコロナウィルスの流行、 新しい学習塾はどこに向かうか

社会から新しい能力が求められ、大学入試が、そして中等教育が変わろうとしています。この動きに真っ先に反応するのは塾業界ではないでしょうか。

現在、学習塾は、従前からある遠隔教育の充実のみならず、新しい能力育成にもたつく公教育の肩代わりとして、プロジェクト型学習や、ポートフォリオ作成、AIがサポートする自己管理的学習システムを導入するなど、大きな変革がなされつつあります。もともと学習塾は民間の教育サービスであり、学歴に直結しないために児童生徒は必ずしも登録し続ける必要はなく、学習者のニーズに敏感に対応する必要があります。少子化によって競争がさらに激化し、こぞって新しい入試形式への対応に取り組む中、さらに新型コロナウイルスの流行を受けた学習塾がどのように変化しているのかについて紹介していただきます。

本セミナーは、高度副プログラム「大学マネジメント力養成・向上プログラム」が提供する「高等教育論特講Ⅱ（担当：齊藤貴浩、川端亮）」として提供されています。



日時： 2020年11月26日(木) 16:50 ~

場所： 大阪大学大学院人間科学研究科東館2階
ユメヌホール(207講義室)(吹田キャンパス)

※ZOOMでの参加をご希望の方は、前日までに齊藤までご連絡ください
(saito@iai.osaka-u.ac.jp)。接続先等をご連絡します。先着30名まで。

講演者： 山田未知之 株式会社私塾界／全国私塾情報センター
代表取締役社長、社会情報大学院大学客員教授

略歴：2005年、教育サービス業界専門誌『月刊私塾界』（毎月5,000部発行）を発行する株式会社私塾界（全国私塾情報センター）に入社。2008年、取締役役に就任。2010年、同社創業者である父・山田雄司が急逝し、副社長に就任。2012年10月より現職。教育サービスのあり方や業界への想い深く、全国約2,000社におよぶ学習塾のサポート役として、月刊誌の発行を通して経営情報の提供をするほか、各地で研修・セミナーを実施している。

私塾界オフィシャルサイト www.shijyukukai.jp

主催：大阪大学大学院人間科学研究科 附属未来共創センター
：大阪大学高度副プログラム「大学マネジメント力養成・向上プログラム」
問い合わせ先： mirai-kyoso@hus.osaka-u.ac.jp